

# 令和4年度 文京区立昭和小学校 授業改善推進プラン

## 第4学年

教科	指導上の課題の分析⇒	指導の在り方⇒	授業改善の視点
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字はへんやつくりなどから構成されていることについて、理解している児童は多い。漢字の書き取りテストでは、よく書くことができている。しかし、文や文章の中で学習した漢字を使うことができていることがないことがある。</li> <li>○相手に伝わるように理由を挙げ、話の中心が明確になるように伝えることや、話しの内容の中心を捉えて聞くことに個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話や文章の中で使わせるとともに言葉の性質を理解させ、学習した漢字を使えるように指導する。</li> <li>○話型を提示し、ペアやグループで発表や伝え方を練習し合ったり、話の要点を意識しメモをとりながら聞いたりすることを指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文や文章を書く時間を設け、学習した漢字を使うよう、その都度指導をする。出てきた単語や熟語の意味や使い方を調べる活動を積極的に取り入れ、習慣として定着できるよう取り組む。</li> <li>○話の中心を冒頭で述べ、そのことに合わせた理由や事例などを挙げて、内容と結論がずれないように、内容を書かせた上で発表させるなどをする。話し手の聞いたことを発表する機会などを設けることで聞く指導の効果を高める。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東京都の特徴や水道など自分の身近にあることに対する興味・関心は高い。新聞などにまとめることに個人差がある。</li> <li>○調べ学習の際に、情報収集の仕方に偏りが見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まとめる学習を積極的に取り入れ、まとめ方などをまとめ学習の前に指導する。</li> <li>○目的に合った情報収集ができるようにインターネット以外にも調べる方法があることを意識させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ノートなどに自分の考えや疑問を文章にする練習を授業の中に多く取り組む。</li> <li>○パンフレットや本など身近なもので調べ、分からないことや詳しく調べたいときにインターネットを活用できるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○わり算など計算が得意な児童が多いが、時間がかかってしまったり、やり方を忘れてしまったりする児童もいる。また、考え方を説明する力、表現する力が弱い。</li> <li>○数の仕組みについて理解が不十分な児童もいる。</li> <li>○分度器の使い方、読み方どちらも苦手である。角の大きさを測る時に、どこの目盛りを読めばいいのかが分からなくなる。また、正確に作図することが難しい児童も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○過程を理解していない場合もあるので、解答だけにとらわれずに理解度を見極める。</li> <li>○数は大きくなっても小さくなっても一、十、百、千の繰り返しや、十進位取り記数法の原理に基づいていることを確認させる。</li> <li>○角の見た目の大きさから角度の見当をつけさせたり、0をどこに指定するかに気を付けさせたりする。分度器やコンパスを使う機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○繰り返し計算練習に取り組む。また、思考の過程を、既習事項をもとにして説明したり、友達と互いに伝え合ったりする活動を通して、表現する力を育てる。</li> <li>○位取り表で確認し、大きい数や小さい数に慣れ親しむようにする。数の増え方の決まりに着目させる。</li> <li>○角が大きくなった場合、補助線を引いたり、向きを変えたりして、およその角度の見当をつけさせる。直線の回転方向に気を付け、どこの角度を調べるのかを明確にする。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実験の結果を予想する際に、自分の考えをもてない児童が多い。</li> <li>○結果から結論を導き出すことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題場面を想起しやすくするために、写真や実物を用意する。</li> <li>○話型や図などで表現できるように、表現の仕方の選択肢を与える。</li> <li>○実験方法、実験結果、結果からわかることが含まれるように、結論に含まれる要素を提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題場面を把握し、根拠に基づいて予想をたてることができるようにする。</li> <li>○問題に正対させ、簡潔にまとめられるようにする。</li> <li>○いくつかの考察内容を整理したり、科学的な言葉や概念を確認する場として結論を設定したりする。</li> </ul>

教科	指導上の課題の分析⇒	指導の在り方⇒	授業改善の視点
体育	○マット運動等の器械運動では、多くの児童がこつを理解しているが試技の際には、実践できていない。	○児童が自分自身の体の動きを理解し、技が身につくよう、タブレットPCを使って自身の課題を明確にしながらスモールステップを意識した指導をする。	○ゆりかごなどの体を揺らす運動やかえるの足打ちなどの体を支える運動に取り組む。また、傾斜を利用して回転に勢いをつけることで、回る感覚を掴ませる指導をする。
音楽	○意欲的に取り組む児童が多くみられるが、意欲付けや支援が必要な児童もいる。 ○概ね範唱を聴いて歌うことができるが、頭声と地声など発声の仕方に個人差がある。昨年度から取り組んでいるリコーダーは感染症対策のため練習があまりできておらず、演奏の技能が十分でない。  ○楽曲を聴いて感じ取ったことを言葉にする力が伸びてきているが、個人差がある。	○学習のきまりをしっかり身に付けさせ、定着させる。  ○演奏の基本的な技能の向上を図り、状況に応じて練習の機会を設ける。また、自分たちの演奏・歌唱を客観的に振り返り、より曲想にふさわしい表現に気づいたり工夫したりするように働きかける。  ○楽曲を聴いて音楽を形作っている要素の働きに気づき、感じ取ったことを文章で表すことができるようにする。	○課題を明確にし、わかりやすく具体的に指導する。  ○感染症対策の状況に応じて学習内容を工夫し、基礎的な演奏技術が身に付くよう、繰り返し指導する。つまづきが見られた場合は課題を分析し、スモールステップで粘り強く取り組めるように指導を工夫し、できたところから称賛することによって自信をもたせる。 ○教室内掲示を活用し、個別指導や言葉かけをして、個々の考えを表現する支援を行う。
図工	○楽しく取り組んでいる児童が多いが、粘り強く取り組むのが苦手な児童もいる。  ○片付けることが苦手な児童がいる。	○友達の作品を見合う時間を設けたり、振り返りカードでアドバイスをしたりすることを通して、粘り強く取り組むようにしていく。  ○片付けの時間を十分に確保することで、片付けることに強く意識をもたせる。	○友達の作品を見合うことで、自分の作品の中で、足りない点や工夫できる点に気づく機会を設けるようにする。  ○図工室を使っているのは自分だけではない点や次に使う人に対する思いやりについても意識をもたせることで、片付けへの意識をもたせる。